

まこと 後援会

# さくま誠 便い

2016年夏季号  
名寄市西5南12  
さくま誠 後援会  
☎ 01654-3-9260  
発行責任者  
菅野 孝

徳永エリ  
鉢呂吉雄当選  
「支援感謝！」



ていられる状況にないので何らかの財源的な手立てを講じて改修を行わなければならないと考えている。

風連中央小学校も今年度と同様な採択の考え方となると厳しいが、学校施設の耐震化は急務との考えに立てば採択の優先度は高い事業と考えられ引き続き建築に向けた諸手続きを進めて行きたい。※現在、過疎債で改修する事で進められています。

## 平和行政の推進について

問 安全保障関連法の国会での採決により、自衛隊員や家族の不安は大きくなっている。

今後、危険地域への派遣も予想されるため、政府に対し危険地域や危険任務に当たらせないという声を地方自治体から上げるべき。

答 外交や安全保障にかかわる事務は国の専権事項となっている。本市としては、昨年7月に陸

上自衛隊名寄駐屯地と『派遣隊員の留守家族支援に関する協定』を締結している。部隊内に開設する託児施設に対して、設置や保育に対する助言・指導、子弟のための一時預かりや学童保育所の利用に関する支援、高齢者・障がい児家族が福祉サービスを受けるための相談窓口の情報提供や各種相談受付などの支援を行なうものであり、大規模災害時を含め、必要に応じて駐屯地と調整を図りながら迅速に対応してまいりたい。

佐久間議員は、この回答に対して大規模災害時は別として、隊員の命や安全を守るという観点から言えば、「集団的自衛権」を容認することを前提としたものであり、「危険地域には派遣しない」との声を政府に上げるべきと質しました。

また、本年度の平和行政での名寄市の取組計画、小中学校での平和教育の取組について、先進自治体の取組事例などを示し平和行政の積極的な推進を求めました。

## 急を要す東小の大規模改修

改修については、今後何年も待つ

平成28年度の第2回定例会は、6月3日～6月17日の日程で開催され、会議初日には、平成28年第1回定例会で経済建設常任委員会に付託されていた「名寄市中小企業振興条例」の一部改正についてを委員長報告のとおり原案可決、議案審議では、条例案3件、補正予算5件の他、報告・諮問事項、意見書案8件などを審議しました。佐久間議員は6月15日に一般質問にたち、平和行政の推進や、学校施設環境改善交付金の不採択に伴う対応、市街地再整備に関してなど、3項目8点について質問し市の対応を求めました。

問 学校施設環境改善交付金の不採択に伴う対応について名寄東小学校と風連中央小学校の建て替え計画の考え方について、国からの予算付けがされない中で、雨漏り等、急を要する東小学校改修をどうしているのか。

答 4月19日の国からの補助金の内示で東小の大規模改修事業は採択が見送りになった。



※写真：改修が急がれる東小学校

## 市街地再整備に関する

### ランドデザインを示すべき

現在、名寄市総合計画（第二次）が鋭意議論されていますが、とりわけ名寄市の「顔」とも言うべき中心市街地、駅前商店街が閑散としており、いくつかの事業主の創業はあるものの「シャッター街」となっています。

佐久間議員は、この問題を取り上げ、中心市街地に人を呼び込む推進力（エンジン）となるような個別施策を市民に分かりやすく示し、名寄市の総合計画をイメージしやすく進めていくべきではないかとの観点から市の考え方を質しました。

### 中心市街地の再整備について

**問** グランドデザインを市民に分かりやすく示し、南広場に中心街への誘導の推進力となるような複合施設の設定を進めてはどうか。



**答** 歴史とともに築か

れてきた市街地の新たな姿にかかわることから、関係者とともに策定される個別計画において示されると考えるのでご理解を頂きたい。

**再** 空洞化する中心部だが、対策が見えない。3-6地区整備計画が議論された経緯があるが、民間団体の準備が整わないとし、見送られた経過がある。むしろ、南広場を活用しての複合施設、例えば老朽化している市立図書館を建設し、子どもたちが楽しめるキッズスペースと農畜産物、海産物などを販売する物産館など複合施設を形成し、マチナカへの誘導の推進力としてはどうか？



近隣市町村も不足しているというキッズスペースを兼ね備えることにより、集客力も増すことが考えられる。街の活性化をはかる視点から検討いただきたい。——以上の提案を行い、一般質問を締めくくりました。

### 経済建設常任委員会では・・・

市民から毎年苦情が多く寄せられている「除排雪のありかた」について「検討委員会」が設置され、議論が始まりました。年間テーマとして、より暮らしやすいシステムの構築を目指して行きます。

## 粒粒辛苦



5月に下の娘に第二子が生まれた。連れあいにはSOSを受けてはたばたとキャリーバックを引き出かけていった。▼男親としては行っても迷惑をかけるだけ。自分のことを自分です。ご飯の支度、洗濯、掃除、花の水やり▼長丁場だから、ちょっとした苗ものも裏庭に植える。時期が大切。トマト、キュウリ、ナス。これは苗物購入。エンドウ、インゲンも種を買い、南瓜は食べたときの種を捨てずに乾燥させ、苗まで育て畑に定植▼育ててみて「なるほど手がかかる。水も必要」食糧を育てること＝水。農家の方の苦労がわかる。▼5月末の大雨、雹（西風連）でアスパラ、大豆などに農業被害が発生。雨は欲しかったが、播種した大豆が流されてはとの農業者の声。天候異変は最大の敵だ。災害に強い畑の基盤整備を順次進めなければならぬ▼お産あけて戻った連れあいのもに、今度は上の娘からSOS。こちらは孫が風邪で入院したとのこと。結局、孫3人がダウンし、都度出かけていった。▼ばあちゃんは大車輪の活躍。対して、じいちゃんは？▼何とか落ち着きを取り戻した先ごろ、裏庭のキュウリが初収穫の時期を迎え、連れあいと一緒いただいた。